

母子健康手帳の改定並びに学童健康手帳 との関連に関する研究

— 幼稚園・保育園に於ける母子健康手帳利用度調査 —

高橋悦二郎（日本総合愛育研究所）
大国真彦（日本大学小児科）
高石昌弘（国立公衆衛生院，東大教育学部）
平山宗宏（東京大学母子保健学科）
松山栄吉（東京厚生年金病院産婦人科）
本多 洋（三井記念病院産婦人科）
堀口貞夫（愛育病院産婦人科）
國崎 弘（文部省体育局学校保健課）
瀬上清貴（文部省体育局）

〔Ⅰ〕 研究目的

昭和18年母子手帳が母子健康法にもとづいて交付され始めてから40年。この間何度かの改訂がなされ、最近では昭和51年に母子健康手帳のかなり大幅な改訂がなされた。その後も時代の変遷とともに、改訂の要望があちこちから出され、ごく一部ではあるが、例えば先天代謝異常スクリーニングテストの項目や、昭和55年度の乳幼児身体発育値等が書き加えられたり、改められたりした。

学童健康手帳との関連に於て、関連づけられるに越した事はないが、母子健康手帳を紛失してしまうものや、或は記録もれが多くて役に立たない、離婚再婚親子関係に問題のある家庭がふえて来て、母子同一の手帳の困難性の問題等も提起されて来た。

これ等をふまえて、前回改訂後そろそろ10年になるので、更に利用しやすくする為にはどうしたらよいか、本年は幼稚園、保育園に於ける利用度の調査にしばって研究をすすめた。

〔Ⅱ〕 調査方法、対象

先ず水戸市、福島市の公立幼稚園24園で予備調査を行った。次いで全国の公私立幼稚園1000ヶ所、社会福祉年鑑掲載の認可保育園から無作為に1000ヶ所抽出し次の様なアンケート用紙を配り

調査した。（昭和58年10月～11月）

—— 母子健康手帳利用度調査 ——

次の質問に御記入又は該当する所に○をつけて下さい。いくつつけても構いません。

- (1) 貴園では入園時に、それ迄の健康状態や予防接種の既往を知る為にどのような方法をとっていますか。
 1. とくに調査はしていない。
 2. アンケート式の調査票（保健調査用）に記入して貰い（或は聞きとって担当者が記入）利用している。
 - ア. その場合は入園時だけ利用している。
 - イ. そのまま、或は転記して卒業時まで利用している。
 3. 上記の調査票をつくる時などに、母子健康手帳を持参させている。
 - ア. その場合最初の時だけ持参して貰う。
 - イ. 必要な時持参させて何回も参考にしていく。

◎母子健康手帳を利用しておられる園にうかがいます。

4. 母子健康手帳を利用されている場合、どのような項目について見ておられますか。
 - ア. 母親の妊娠中の状況
 - イ. 出生時の状況
 - ウ. 出生後の状況
 - エ. 予防接種の状況

- オ. その他 ()
5. 母子健康手帳を持参させることについて今まで問題があったケースを経験されていますか。
- ア. はい (具体的にどんな事か教えて下さい)
()
- イ. いいえ
6. 母子健康手帳の内容・様式で改善してほしい点があったら教えて下さい。
()
- (2) 貴園では日常の子どもの健康管理にどのような書類を使っていますか。
- とくに用いているカードや書類はない。
 - 園児個人用の健康手帳を用いている。
 - 園児個人別の健康(管理)カード(身長・体重や健康診断の結果などを記入)を用いている。
 - クラス別など多人数の子どもについて列記式の健康診断結果表を用いている。

〔Ⅲ〕 調査結果

予備調査により母子健康手帳を利用している園は24園中20園に見られた。然し全国調査の規模でみると、その結果利用率はかなり低いものであった。

表(1)にアンケート用紙配布数、回答率を示すが、幼稚園、保育園とも40％程度の回答率であり大都市より郡部の方が回答率はよかった。

表(2)に母子健康手帳利用率を示すが、幼稚園よりも、保育園に於てよりよく活用し、しかも大都市の保育園では68.4％の利用率がみられた。

母子健康手帳利用項目としては、その結果を表(3)に示した。幼稚園保育園ともに、予防接種の状況について利用するものが最も多いが、出生時の

状況、その後の発育状態等を参考にしているものも結構みられる。

表(3)オのその他の参考項目としては、保護者の記録欄から、既往症、寝返り、お坐り、歩行のはじめ、言語のはじめ、その他育児上の心配の欄の記載等があげられている。離乳の状況、哺乳方法、血液型等の項目について見ていると答えた所もある。

手帳利用の際問題ありと答えたのは幼稚園5件、保育園16件となっていたが、その内容は、紛失してしまったもの。養子縁組や母子家庭で提出してくれなかった。家庭が複雑で出生時の母子手帳がない場合。それを知らずに何回か提出を請求し、相手にづらい思いをさせたしまった等の回答が得られた。

入園前の健康状態、予防接種の既往を知る方法は表(4)に示すが、①(とくに調査はしていない)は幼稚園48件、保育園28件となっている。

一番多いのは②ーイ(アンケート用紙の番号参照)即ち保健調査用紙に記入して貰い卒業時まで利用しているとなっている。園によっては保健調査用紙を家庭調査用紙とよんだり、個人別健康診断記録帳、健康手帳家庭調査表、幼児家庭生活調査表、教育資料調査表、生活調査表等いろいろによんでいる。又同地域内公立幼稚園で統一されたものを使用している園も多い。

日常の子どもの健康管理にどのような書類を使っていますかの問いに対し、表(5)のような答を得た。(項目の番号はアンケート用紙の番号と一致する)即ち一番多いのは③で園児個人別の健康管理カード使用となって居り、とくに用いているカードや書類はないという①は少い。④のクラス別等多数の子どもについて列記式の健康診断結果表を用いている所は幼稚園67カ所、保育園81カ所であった。

表(1) アンケート用紙配布数、回答率

	幼稚園				保育園			
	大都市	中小都市	郡 部	小 計	大都市	中小都市	郡 部	小 計
配 布 数	194	623	183	1,000	174	480	346	1,000
回 答 数	70	246	88	404	57	204	162	423
回 答 率	36.0 %	39.4 %	48.0 %	40.4 %	32.7 %	42.5 %	46.8 %	42.3 %

表(2) 母子健康手帳利用率

	幼稚園				保育園			
	大都市	中小都市	郡 部	小 計	大都市	中小都市	郡 部	小 計
回 答 数	70	246	88	404	57	204	162	423
利用施設	21	67	27	115	39	110	67	216
利 用 率	30.0 %	27.2 %	30.7 %	28.5 %	68.4 %	53.9 %	41.4 %	51.1 %

表(3) 母子健康手帳利用項目

項 目	幼稚園				保育園			
	大都市	中小都市	郡 部	小 計	大都市	中小都市	郡 部	小 計
ア. 母親の妊娠中の状況	3	18	7	28	22	48	36	106
イ. 出生時の状況	11	42	15	68	50	91	52	193
ウ. 出生後の状況	10	37	15	62	42	75	39	156
エ. 予防接種の状況	14	57	23	94	55	101	56	212
オ. その他	1	9	1	11	3	5	8	16
回 答 数	(70)	(246)	(88)	(404)	(57)	(204)	(162)	(423)
手帳利用に際しての問題例	2	3	0	5	5	8	3	16

表(4) 入園前の健康状態、予防接種の既往を知る方法

項 目	幼稚園				保育園			
	大都市	中小都市	郡 部	小 計	大都市	中小都市	郡 部	小 計
①	4	29	15	48	11	14	3	28
②ーア	7	38	12	57	16	13	6	35
②ーイ	51	154	54	259	112	155	49	316
③ーア	3	8	8	19	22	48	34	104
③ーイ	2	17	8	27	22	29	13	64
無記入	57	183	63	303	105	106	25	236

表(5) 日常健康管理に使用する書類

項 目	幼稚園				保育園				無記入
	大都市	中小都市	郡 部	小 計	大都市	中小都市	郡 部	小 計	
①	2	13	1	16	6	5	0	11	1
②	17	28	8	53	9	11	13	33	1
③	58	205	80	343	132	176	66	374	16
④	11	42	14	67	26	39	16	81	7

母子健康手帳の内容で改善してほしい点については、いろいろの答がみられたが、既に日本小児保健学会員や、日本母性保護医協会員から得られたものと、ほぼ同じようなものであった。その中の主なものをまとめてみると次の如くである。

- 自治体が違うと形式も違い取り扱いに不便。全国统一のものが望ましい。
- 予防接種欄がすぐ分るよう色違いの用紙を用いて欲しい。
- 予防接種欄が少い。殊に臨時に行うものの欄が少い。
- 予防接種済証紙は紛失しやすい。
- 問題傾向のある幼児についての出生時記録や、生育歴、母親の心理状況等を知る項目が欲しい。
- 運動機能、精神発達等発達段階のグラフが一目で分るものがあれば便利。
- 罹病一覧表があるとよい。

〔Ⅳ〕 結 論

昭和58年度に於ては、幼稚園、保育園で母子健康手帳がどの程度利用されているか、利用項目はどの様な点か、問題点や改訂の望まれる所はどこか等についてアンケート調査を行った。

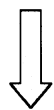
幼稚園 1000 カ所、保育園 1000 カ所にアンケート用紙を送り、回収率は幼稚園 404 カ所（40.4 %）保育園 423 カ所（42.3 %）であった。

母子健康手帳を入園時、或はその後も提出させ参考にしている所は幼稚園 404 カ所中 115 カ所（28.5 %）保育園 423 カ所中 216 カ所（51.1 %）で、大都市の保育園ではその利用率 68.4 % で最も高かった。概して保育園の方が母子健康手帳をよく活用して居り、一番利用度の少いのは中小都市の幼稚園で 27.2 % であった。幼稚園には養護教諭や保健婦看護婦のいる所は殆どいない為、利用率が低いのかとも考えられる。

利用項目の中で最も多いのは予防接種の項目であるが、これは一つには、日本脳炎やインフルエンザの予防接種を園で施行する際、接種済みの記録をする為とも考えられる。

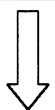
更に保育園では出生時記録や出生後の発育状況等を、母子健康手帳を参考に行っている所が多いようであった。

改訂して欲しい点の一番多いのは、予防接種の利用が一番多い事から、予防接種のページに関するものであった。即ち幼稚園や保育園で、中でも転勤者の多い園では各都道府県市町村によって手帳の様式大きさ等も様々であると予防接種のページを捜すのも大変であり、それが全国统一されたページであると手間も省けて楽であると希望している。予防接種のページは開きやすいように、色違いにする、更にスペースをも少し多くとって欲しいという希望も多かった。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔1〕 研究目的

昭和 18 年母子手帳が母子健康法にもとづいて交付され始めてから 40 年。この間何度かの改訂がなされ、最近では昭和 51 年に母子健康手帳のかなり大幅な改訂がなされた。その後も時代の変遷とともに、改訂の要望があちらこちらから出され、ごく一部ではあるが、例えば先天代謝異常スクリーニングテストの項目や、昭和 55 年度の乳幼児身体発育値等が書き加えられたり、改められたりした。

学童健康手帳との関連に於て、関連づけられるに越した事はないが、母子健康手帳を紛失してしまうものや、或は記録もれが多くて役に立たない、離婚再婚親子関係に問題のある家庭がふえて来て、母子同一の手帳の困難性の問題等も提起されて来た。

これ等をふまえて、前回改訂後そろそろ 10 年になるので、更に利用しやすくする為にはどうしたらよいか、本年は幼稚園保育園に於ける利用度の調査にしばって研究をすすめた。